

日刊建設通信新聞（2024年2月19日付 10面掲載）

【オリコンサルら 三重県5町で地域のデジタルサービス連携】

三重県5町で地域の デジタルサービス連携

オリコンサルら

オリエンタルコンサルタンツが参画する三重広域DXプラットフォームは、三重県中・南部5町でのデジタル技術を活用した新たなまちづくり「美村（びそん）プロジェクト」の新たな取り組みとして、スマートフォン用アプリによる「美村パスポートサービス」を始めた。地域の多様なデジタルサービスを一つにつなげ、マイナンバーカードの認証機能を活用することで地域の魅力を住民や観光客などに体験してもらう。

観光を起点に、関係人口の増加や多面的な地域活性化などにつなげていくのが狙い。地域のデジタル基盤を発展

させることにより、マイナンバーカードを活用した地域の周遊促進や公助（公的支援）のデジタル化、新たな収益構造の構築、地域の活性化や社会課題の解決にも取り組む。

美村プロジェクトは、デジタル田園都市国家構想・三重広域連携モデル事業として、多気町と大台町、明和町、度会町、紀北町の5町が行政区域を越えて連携し、仮想自治体「美村」としてブランド化を図る取り組み。多気町に2021年に開業した年間約350万人が訪れる複合リゾート施設「VISION（ヴィゾン）」を最大限に生かして住民と観光客にとって魅力的な地域づくりを強化し、全国、世界に広く発信していく。